

総務環境常任委員会会議記録

日 時 令和2年9月18日（金曜日）
場 所 水戸市議会 第1・第2委員会室

午前10時 0分 開議
午後 零時 9分 散会

付託事件

所管施設視察，議案第125号，議案第128号，議案第129号，議案第133号（ただし，第1表中歳出中第3款，第4款，第8款及び第10款中文教福祉委員会所管分並びに第2表継続費補正を除く），認定第3号

1 本日の会議に付した事件

(1) 所管施設視察

(2) 議案審査

- ① 議案第125号 千波市民センター建設工事請負契約の締結について
- ② 議案第128号 水戸市一般廃棄物第三最終処分場埋立施設建設工事請負契約の変更について
- ③ 議案第129号 水戸市一般廃棄物第三最終処分場浸出水処理施設建設工事請負契約の変更について
- ④ 議案第133号 令和2年度水戸市一般会計補正予算（第5号）（ただし，第1表中歳出中第3款，第4款，第8款及び第10款中文教福祉委員会所管分並びに第2表継続費補正を除く）
- ⑤ 認定第 3号 令和元年度笠間・水戸環境組合一般会計決算認定について

2 出席委員（7名）

委員長	小 泉 康 二 君	副委員長	佐 藤 昭 雄 君
委員	滑 川 友 理 君	委員	田 中 真 己 君
委員	高 倉 富 士 男 君	委員	須 田 浩 和 君
委員	福 島 辰 三 君		

3 欠席委員（なし）

4 委員外議員出席者（なし）

5 説明のため出席した者の職，氏名

副市長	田 尻 充 君		
市長公室長	小 田 木 健 治 君	秘書課長	川 上 悟 君
政策企画課長	宮 川 孝 光 君	交通政策課長	須 藤 文 彦 君
情報政策課長	北 條 佳 孝 君	みとの魅力発信課長	沼 田 誠 君

総務部長	園部孝雄君	総務部参事兼 人事課長	天野純一君
総務法制課長	上垣外泰之君	行政経営課長	熊田泰瑞君
財産活用課長	谷津茂男君	市民課長	高安正紀君
財務部長	白田敏範君	税務事務所長	小川喜実君
財務部参事兼 財政課長	梅澤正樹君	契約検査課長	鈴木和男君
市民税課長	安里裕行君	資産税課長	関根豊君
収税課長	佐々木信也君		
市民協働部長	川上幸一君	市民協働部 副部長	小嶋いつみ君
市民協働部 技監	太田達彦君	市民協働部 参事兼 スポーツ課長	柏直樹君
市民協働部 技監兼 体育施設整備 課長	青山和夫君	市民生活課長	小川邦明君
防災・危機 管理課長	小林良導君	生活安全課長	村沢晶弘君
文化交流課長	三宅陽子君	新市民会館 整備課長	篠原芳之君
男女平等 参画課長	石塚美也君		
生活環境部長	佐藤則行君	環境保全課長	林栄一君
衛生事業課長	黒澤純一郎君	ごみ減量課長	渡邊徳子君
廃棄物対策 課長	亀井俊道君	新ごみ処理 施設整備課長	宮田正一君
清掃事務所長	清水健司君		
会計管理者兼 会計課長	小田木義弘君		
選挙管理委員会 事務局長	外岡淳一君		
監査委員 事務局長	綿引信明君	監査委員 事務局次長	和田隆君
議会事務局長	小嶋正徳君	議会事務局 次長兼 総務課長	関谷勇君
議事課長	永井誠一君		

6 事務局職員出席者

議事課副参事
兼課長補佐

大 嶋

実 君 書

記 武 田 侑 未 子 君

午前10時 0分 開議

○小泉委員長 おはようございます。

定足数に達しておりますので、ただいまから総務環境委員会を開会いたします。

これより議事に入ります。

本日の委員会は、初めに昨日の決定のとおり、議案第128号、議案第129号につきまして、現地視察を行い、その後、委員会室におきまして質疑を行った後、御意見を伺いながら採決を行ってまいりたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○小泉委員長 それでは、そのように進めさせていただきます。

それでは、初めに、お手元に配付してあります日程予定表（案）のとおり、所管施設視察を行います。

本庁舎北側バス停前に中型バスを用意しておりますので、直ちに御参集を願います。

それでは、暫時休憩いたします。

午前10時 1分 休憩

————— 所管施設視察 —————

市役所発	10:05
水戸市一般廃棄物第三最終処分場	10:30～10:57
市役所着	11:25

午前11時28分 再開

○小泉委員長 休憩前に引き続き、会議を開きます。

次に議案審査でございますが、本日の日程は議案第125号ほか4件であります。

お諮りいたします。この際、当委員会に付託となっております議案第125号ほか4件を一括議題としたいと思います。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○小泉委員長 御異議なしと認め、一括議題といたします。

まず初めに、議案第128号及び議案第129号につきまして、現地視察を行ったところでございますが、委員から何かございましたら、発言を願います。

福島委員。

○福島委員 本日晒された資料について、セメント改良材の配合量が当初は5,179トン、それが最終的には2,646トンで2,533トンの約半分の差があると。それは、例えば先ほどの説明では、悪質土で積算したから、いい土が出てきたので、こう変わったんだという説明ですよ。大義名分が。しかし、それもここで12か所って言っていたのが、19か所になったのかな。それが、ボーリング調査が全部必要なかったんじゃない。それで4か所試掘したって言うが。最初から全部悪質土でやるならば、ボーリング調査をやっていい土がありました、悪い土です。結果的には、良質土が出たから半分になったんだという今回の議案第128号なんです。要するにボーリング調査を19か所やらなくたって、最初から悪質土ということ

で積算したんだと言って、実際には4か所試験掘りしてやったと。当然、掘削すれば地下の堆積層が砂利層とか粘土層とか玉砂利とかいろいろございます。そして、その堆積によって悪質土、良質土が分かるわけがあります。

そういう面で、なぜ全部悪質土で積算して出したのかということでもあります。全部最初から悪質土なら4か所ぐらい掘って、全部悪質土だよと。何も19か所とか掘る必要はないんじゃないかと。掘れば何分の1が悪質土で、何分の1が良質土だというのは、もう分かっているわけです。最初からね。

私は新ごみ処理施設整備等調査特別委員会の委員長ですから、私どもに報告は一切ないと。良質土とか悪質土とか本議会になって初めて今日聞いた話であります。

ですから、その採掘をやった大義名分は何なの。まず、簡単なことから聞いていくから。

○小泉委員長 ボーリング調査の目的も含めて、宮田課長お願いします。

宮田課長。

○宮田新ごみ処理施設整備課長 まず、ボーリング調査の目的でございますけれども、最終処分場の埋立施設、建屋、施設を建てるために、地盤の支持力を調べるため、それと地質の状態、地質の状況等を調べるためにボーリング調査を行いました。

○小泉委員長 福島委員。

○福島委員 そして、結果はどうなったの。

○小泉委員長 宮田課長。

○宮田新ごみ処理施設整備課長 ボーリング調査を行いました結果、前回の特別委員会で示したとおり、地盤改良というものを行いました。柱状改良というものを行いまして、それは1,700か所ほど行っております。

〔「1,700か所」と呼ぶ者あり〕

○宮田新ごみ処理施設整備課長 それは基礎です。

〔「俺は19か所と聞いていた、1,700か所なんて初めて聞いたんだけど」と呼ぶ者あり〕

○宮田新ごみ処理施設整備課長 建物の基礎として改良を行っております。それが1,700本というところでございます。

○小泉委員長 福島委員。

○福島委員 私はこの資料の説明をお願いしているんだから、とんちんかんな話では困るんだよね。この出された資料のボーリング調査は何か所。これは。

○小泉委員長 宮田課長。

○宮田新ごみ処理施設整備課長 失礼しました。

ボーリング調査の箇所数といたしましては、図に示してある赤丸の19か所でございます。

○小泉委員長 福島委員。

○福島委員 何で1,700か所になったの。

○小泉委員長 宮田課長。

○宮田新ごみ処理施設整備課長 ボーリング調査の結果を基に、建物を建てるための基礎の支持地盤という

ところで、基礎を造るために柱状改良というものを行いまして、その柱状改良の数は1,700本ということでございます。ボーリング調査の結果、それを行ったということです。

○小泉委員長 地盤改良のところですよ。結局。

福島委員。

○福島委員 今、1,700か所というのは初めて聞いた話なんだ。そういう話は今まで1回も出ていない。

○小泉委員長 地盤改良の基礎杭のところですね。特別委員会でやった。

○福島委員 やっても、ね。今日出された資料について私は質問しているんですよ。そうすると、これに千何か所は関係あるということでしょう。

○小泉委員長 建物の基礎杭の話ですよ。これは埋立施設の下に基礎杭として1,700……

○福島委員 だから、基礎杭なんて私は質問したことないよ。

〔「していないのに説明したから悪い」と呼ぶ者あり〕

○小泉委員長 ボーリング調査の結果、地盤改良が必要となり、その後1,700本を打ったという。

〔「聞いていないのに答えたから」と呼ぶ者あり〕

○福島委員 だから、一番大切なことは19か所のボーリング調査をやって、その結果、悪質土だからこの5,179トンというセメントの改良剤の配合量が出たんですよ。それは違うの。それは、1,700か所から計算して、5,179トンになったの。

○小泉委員長 サンプルは4か所ですよ。現地での説明があったのは。

○福島委員 だから、そういうふうに聞いているけれども、今、千何か所かやったと言うから、それが……

〔「1,700やったって言っていないですよ。余計な話をするから」と呼ぶ者あり〕

○小泉委員長 確認でサンプルを取った箇所の数をお願いします。

宮田課長。

○宮田新ごみ処理施設整備課長 失礼しました。

ボーリング調査の数が19か所で、サンプリングをしたのが、そのうちの4か所でございます。

○小泉委員長 福島委員。

○福島委員 そうすると、19か所やってサンプルを取ったのが4か所ということは、あと15か所は何をやったの。

○小泉委員長 宮田課長。

○宮田新ごみ処理施設整備課長 地下の状態を調べるために、地層の状況とか支持力を調べるためにボーリング調査を行っております。

○小泉委員長 福島委員。

○福島委員 それと、19か所全部がそのためにやったと違うの。4か所はサンプルを取るためにやって、あと15か所はどう違うの。言っていることが分からない。

○小泉委員長 宮田課長。

○宮田新ごみ処理施設整備課長 19か所全てにおきまして、支持力の調査や地質の調査などを行っております。そのうちの4か所で、サンプリング調査で地質だけを調査しております。

○小泉委員長 サンプルのための土を採取したということですね。

福島委員。

○福島委員 いや、そう言うなら分かるんだよ。それが、1,700か所というのは何なの。

○小泉委員長 1,700本の基礎杭の話、もう一度お願いします。

宮田課長。

○宮田新ごみ処理施設整備課長 すみません。今回の地質とは直接関係ございませんけれども、ボーリング調査をした結果、それが必要だったということで、ちょっとお話をさせていただきました。

○小泉委員長 福島委員。

○福島委員 そうすると、当初は5,179トンで、変更後は2,646トンになったんだと。なぜ、こう変更になったんですか。

○小泉委員長 宮田課長。

○宮田新ごみ処理施設整備課長 当初は、そのボーリング調査のサンプリング結果を基に積算をいたしまして、セメント改良剤の必要量を5,179トンと積算いたしました。その後、実際に現場で掘り上げてみて、その中で普通の土、まあまあいい土、それから悪い土と出てきておりますので、それをより分けて、埋戻しに使ったのが想定よりはいい土を戻したというところで、セメント改良剤の量が少なくなったということでございます。

○小泉委員長 福島委員。

○福島委員 だから、ボーリング調査というのは何のためにやるの。地下層でね、良質とか悪質とか言っているけれども、砂利とかそういうものがどのように堆積されているかというのを調査するんじゃないの。そうでしょう。この5,179トンが2,646トンになったということは、ボーリング調査が間違っていたの。結果的にはどうなの。

○小泉委員長 宮田課長。

○宮田新ごみ処理施設整備課長 ボーリング調査をしたところ、一番その中でも悪いところをサンプリングして、それで安全面を取りまして設計に反映させております。全体の面積が約1ヘクタールございますので、その中にはちょっと地層が段になっているところもありますので、全部が把握できていなかったというところがございます。

○小泉委員長 福島委員。

○福島委員 だってね、当初計画5,179トンから差が2,533トンになったということは、半分になっちゃったということ。そうすると、当初のボーリング調査が間違っていたということなの。ボーリング調査というのは、良質土とか悪質土とかね、セメント改良剤を使うか使わないか、そのためにボーリング調査をやるんでしょう。

だから、そのボーリング調査が半分も間違っていたという意味なの。

○小泉委員長 宮田課長。

○宮田新ごみ処理施設整備課長 4か所のボーリング調査をした中でサンプリングした結果を基に積算して、実際行ってみたところ、そういう結果であったというところでございます。

○小泉委員長 福島委員。

○福島委員 本当のことを言ってくれよ。本当の。そういう結果であったとか何か、ね。

当初5,179トンと、今回2,646トンで変わりましたから、今回の補正予算は、4,175万5,000円減額補正するという議案なんだよ。

私は難しいことは聞いてないんだよ。当初の5,179トンの積算根拠は何かと。そして、今回2,533トン減少したと。2,646トンになった原因は何ですかと聞いている。難しい質問じゃないと思うんだよ。何で減ったんだと聞いているんだよ。資料を出してきたから。俺が難しい質問しているの。

○小泉委員長 須田委員。

○須田委員 ちょっと聞きたいんだけど、ごめんなさいね、視察も行っていないのに。

19か所でボーリング調査をしたんでしょう。19か所だっけ。ボーリング調査をしたんだよね。その19か所って何で選んだっけ。19か所を選んで、そこで支持杭がどうだとかいろんな調査があるじゃない。そのためにボーリング調査をするじゃない。その19か所の中から、そのうちの4か所の土で、これセメント改良材をどのくらい入れたらいいかなといったら、全体で5,179トン入れなきゃ強くないよねと結論がまず出たんだよね。19か所の中から4か所の土でやったってことだよ。5,179トン入れなきゃ駄目だよって話になったんだよね。

〔「はい、そうです」と呼ぶ者あり〕

○須田委員 それで、それが今度変更になるじゃない。変更になって今度、安くなることはいいことだよ。けど強度が保たれなきゃ怖いと思うわけですよ。だから、そののところではたまたま悪質土って言葉がいいのかどうか知らないけれども、その土の質が悪くて五千幾つなだけでけれども、じゃ実際やってみようよと言って、こっち側をある程度取って見たら、全体平均したらそんなにはセメント改良材が要らなかったということに気づいたってことなの、これは。そうではないの。

埋戻しの土っていうのは、結構たくさんあるじゃない。そうすると、そのサンプリングというのはまだテストでしょう。サンプリングのときは強度が弱い悪質土だったから五千幾つが出ちゃったんだけど、埋戻しの土全部で調べてみたら、今度はもうちょっと全体で平均すれば強度が強かったんだなど。強いからこれで済んだってことではないの。

○小泉委員長 宮田課長。

○宮田新ごみ処理施設整備課長 実際、現場のほうで掘り上げてまして……

○須田委員 そうかどうかだけ教えてよ。まず。そうではないんだ。

○宮田新ごみ処理施設整備課長 そうです。

○須田委員 そうなんでしょう。

○宮田新ごみ処理施設整備課長 掘り上げてまして、その土を……

○須田委員 だから、そうなのかどうかってどうなの。正確には違うの。大体そうなの。

○宮田新ごみ処理施設整備課長 そうです。

○須田委員 大体そうなんでしょう。

○宮田新ごみ処理施設整備課長 はい。

○須田委員 それを現場の土が何とかとか、ボーリング調査の後に直して1,700か所に基礎杭を埋めるために何かやったっていうから、俺でも頭ごちゃごちゃしたよ。

福島委員が聞いているっていうのに、何だよ俺が思っているのと違うんだよ。1,700か所ってなんだよって。基本的にはそういうことなのね。

埋戻し用の土を取ってみたら、結構いい土だったんだねということで、これが減ってお金が減るよと。だから、強度はちゃんと保たれるのね。どこの場所でも。

○小泉委員長 福島委員。

○福島委員 それとこれ、何で減ったんだっていう説明はできないんだけど、結局はもう終わっちゃっているんでしょう。あれ現場に行ったら。今年予算は出ているけど、現実はまだ現場は終わっているんだよね、あれ。ね、委員長。終わっちゃっているんだよ。

〔「終わっちゃっているんですか、すみません」と呼ぶ者あり〕

○福島委員 いや、現場を見に行ったらもう終わっているんだから、結果論で出してきたんでしょう。今日は。そうだろうよ。そうすると、何の言いようもないんだよ。

〔「これ、安くなっているけれども安全」と呼ぶ者あり〕

○福島委員 いやいや、安くなった高くなったではないんだよ。議会というのは、正しい積算根拠と正しいあれがなきゃ困るんだよ。だから、この5,179トンになった積算根拠も何も出ていないんだよ。要するに、セメントの改良剤の配合量というのが、下の金額8,907万7,000円になった算出根拠が出ていないんだよ。

例えば簡単に言うと、セメントの改良剤が1袋3,000円ですよと言えば、それを1,000袋が何とか、2,000袋、2万袋とかいう計算が出て、5,179トンという積算根拠が普通は出るわけだ。

それから、今回変更が2,646トンになって4,732万2,000円で、減額補正が4,175万5,000円安くなりましたというようになる。

ただ、我々議会としては、適当に計算して適当に金を払われては困るんだよ。そうでしょう。なぜ、5,200トンから8,900万円の予算を出したかというのが裏づけある数字でなければ困るんだよ。いい加減な数字では駄目なんだよ。それを出していないんだよ。

そして、何のためのボーリング調査だと。今回の答弁は、下の土を取ったらば、良質土であったので半分で済んだと。当初の計画は全部悪質土で計算したと。まあ極端なことを言うと、ドロドロな土でそれを硬化剤を入れて固めるよと。支持力を出すよということなんだけれども、じゃボーリング調査は何にもやらなくても1か所だけやって一番悪いやつだけで全部やるならば、1か所がいい。そうでしょう。そんな19か所もやって。

ところで、まあしょうがないけれども、ボーリング調査というのは1か所幾らかかるの、これ。概算でいい。もう払っているんだから分かるでしょう。

○小泉委員長 宮田課長。

○宮田新ごみ処理施設整備課長 ボーリングの深さが……

○福島委員 だから値段、値段。

○宮田新ごみ処理施設整備課長 値段がそれで違いますが、大体50万円から100万円ぐらいでできると
思います。

○小泉委員長 須田委員。

○須田委員 福島委員と一緒に話なんだけれども、私も同じ気持ちでね、結局その積算で出してきて減ると
いうことは、あなたたち積算をふざけているんじゃないですかって気持ちが働いちゃうのよ。働いちゃうの。
ただ、そのボーリング調査をそれこそ増やしていけば費用もかかっちゃうんだから、そこら辺のバランスで
いい数字を出してきて、僕らは、数字を議決するわけだから。それを福島委員は言っているんだと思うんで
すよ。

私たち議会に対して、後から、いや安くなっちゃったよ、いやあのとき適当だったからってというふうな印
象を市民は取る。私たちは多少勉強することもあるし、皆さんから聞いているから、いやそういうこともあ
るんだなど。ただ、めったにないなど。だから、そこを福島委員から、多分その後の議決に対して反対しな
いですよ、もうできていることだし。安くなっているし。きちんとものごとができているんだから。成果品が。
ただ、そのとこできちんと、多分福島委員から意見はあるけれども、私たちに対してはきちんとした数
字をもうちょっと的確に説明してくれと。その根拠をもうちょっとちゃんとしろよと。普通は減ることなん
てめったにないんだから、増えることは多少あっても。というのは、多分意見でも出てくるから。福島委員
から。そこちゃんとしてよ本当に。それは同じ気持ち。よろしくお願いします。

○小泉委員長 福島委員。

○福島委員 どうせ言ったって本当の話は一つも聞けないんだから。絶対駄目なの。

議会というのは、市民の血税を扱っているんだから、我々が裏づけない金額というのを議決したといっ
たら、我々は何のための議員かって市民の代表かっていうんだよ。これは全部市民の税金で賄われている。
何のために議会があるかって、1円たりとも無駄なく使う。それを審議するのが議会なんだよ。その議会に
出すと、安くなればどうせ議員さんはいよと言ってくれるが、高くなったら言えないから、本当のことは
言わないで全部悪質土で計算すれば、当然結果的にはボーリング調査をやって半分はいい土が出たと。だか
らこういう結果になったんだと思いますよ。それももう終わっちゃったんだよ、あの現場を見たら。

本当は設計変更が計算できる段階で、現場に手をやれないんだよ。そうして、議会の了承をもって執行し
なければならぬんだよ。けれども、市議会議員はみんな分からないからいいだろうというようなことは許
されないんだよ。

だから、どっちにしろ安くなれば議会は喜んではいよと。高くなれば文句を言われるよ。じゃ最初から悪
質土で全部やるならば、ボーリング調査をやった1個50万円なり100万円の19か所あれば
2,000万円ぐらいかかっているわけだから。当然、そういう必要はないので、なぜボーリング調査をや
るか。なぜ地質調査をするか。確実なデータの下に積算根拠を出さなきゃいけないんだよ。それが、最
初から悪質土って言うんならば、ボーリング調査をする必要はないんだよ。

だましてもいいんだという感覚は直してほしい。

以上でいいよ。

○小泉委員長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○小泉委員長 ないようですので、議案第128号及び議案第129号についての質疑を終わらせていただきます。

それでは、付託議案については、一通りの質疑を行いましたので、これより各議案等について、順次、御意見等を伺いながら採決に入ってまいりたいと思います。

採決の方法は挙手によりお願いいたします。

なお、議案第133号につきましては、歳入が当委員会に付託されている関係上、他の委員会において修正等があった場合には、再度、委員会を開催することにしたいと思いますので、あらかじめ御了承願います。

〔「全部これ、もう丸、バツだけだっけ」と呼ぶ者あり〕

○小泉委員長 いや、意見も言っていただければ。

初めに、議案第125号 千波市民センター建設工事請負契約の締結について、御意見等がございましたらお願いをいたします。

福島委員。

○福島委員 これに対しては、2億円もの土地を寄附してくれたという須田委員からの話があるんだから、記念碑とか真心に応える対応をやらなきゃならないから、委員会としては、多数あれば、篤志者に対する寄附行為に対し、十分に感謝の意を残されたいという意見を付してくださいよ。

〔「賛成」と呼ぶ者あり〕

○小泉委員長 もう市長から既に出していますよね。

〔「何を出しているの」と呼ぶ者あり〕

○小泉委員長 感謝状か何か。

〔「感謝状じゃないんだってば。とりあえず、そういうほかにあるんだよ」と呼ぶ者あり〕

○福島委員 だから、我々が言っているのは、感謝状なんて言うのは市政協力委員をやったって何をやってもらえるんだよ。そうじゃなくて、あの市民センターに記念碑に関わるものを造って、永久に残されたいと。

例えば、2億円を寄附してくれるなら、500万円とか1,000万円で記念碑ができちゃうんだから。そういう者に対する、家族に対しても、それは当然その家で遺産相続でもらえるものが、みんな水戸市に寄附されちゃったらなくなるんだけど、こういう立派な人がいたんだと。そのために、千波市民センターができたんだというのは、家族ばかりではなくて地域の皆さんにも、篤志者の行為に対し、感謝すべきではないかと。

○小泉委員長 ほかにございませんか。

ないようですので、議案第125号について採決いたします。

議案第125号について、原案のとおり可決することに賛成の方は挙手を願います。

〔賛成者挙手〕

○小泉委員長 総員挙手であります。

よって、議案第125号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第128号 水戸市一般廃棄物第三最終処分場埋立施設建設工事請負契約の変更について、御意見等がございましたらお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○小泉委員長 よろしいですか。

ないようですので、議案第128号について採決いたします。

議案第128号について、原案のとおり可決することに賛成の方は挙手を願います。

〔賛成者挙手〕

○小泉委員長 総員挙手であります。

よって、議案第128号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第129号 水戸市一般廃棄物第三最終処分場浸出水処理施設建設工事請負契約の変更について、御意見等がございましたらお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○小泉委員長 ないようですので、議案第129号について採決いたします。

議案第129号について、原案のとおり可決することに賛成の方は挙手を願います。

〔賛成者挙手〕

○小泉委員長 総員挙手であります。

よって、議案第129号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第133号 令和2年度水戸市一般会計補正予算（第5号）（ただし、第1表中歳出中第3款、第4款、第8款及び第10款中文教福祉委員会所管分並びに第2表継続費補正を除く）について、御意見等がございましたらお願いいたします。

高倉委員。

○高倉委員 本議案には、賛成の立場から1点だけ意見を述べさせていただきます。

議案第133号の令和2年度水戸市一般会計補正予算（第5号）中、第3表債務負担行為補正についてでありますけれども、本補正については、プラスチック製容器包装等の資源物回収量の増加に対応する補正であり、市民要望に沿った適切な措置であるというふうに評価をいたします。

今回、この資源物の収集回収を増やさざるを得なかったということは、裏を返しますと、それだけ市民の皆さんが新しい分別ルールにしっかりと理解と協力をいただいたということでもあります。つまり、また地球環境の負荷軽減とか、市民意識の高さの表れじゃないかなと思います。

これからも、こういった市民意識の向上のために、さらなる啓発、そして継続的な支援をしていただきたいと思います。

また、今後もごみや資源物の回収においては、市民の利便性に十分配慮していただきながら、市民と行政の協働による持続可能な循環型社会実現に向けた取組、それをなお一層推進していただきたいということを申し上げたいと思います。

○小泉委員長 ほかにございませんか。

須田委員。

○須田委員 10款教育費の6項保健体育費の保健体育総務費なんですけど、この間、ちょっと質問でもやりましたけれども、この1,000万円を、団体、グループをつくって、そこに補助するよということですけども、それは、あくまでおもてなしの顔づくりのいろんな部分だと思うんですよ。それに対して、この1,000万円をそのまま1,000万円で終わらせるんじゃなくて、それをもっと有効に活用されるように、そして魅力ある都市として認識されるように、これは今度交通のほうにもなるかもしれませんが、バスの運行や宿泊やその他、そういう部分のサポート業務も相対的に水戸市、それから観光コンベンション協会、それからスポーツ振興協会など、いろんなところを使って、その周りのサポートもきちんとやっていたきたいという意見です。

○小泉委員長 ほかにございませんか。

田中委員。

○田中委員 2点について、反対の意見を述べさせていただきます。

補正予算ですが、マイナンバー制度に関わるシステム改修が、1,106万円。国の修正に伴う取扱いという説明でしたけれども、国外転出した人の利便性向上のためだということでしたけれども、そもそもそれほど需要があるとも思いませんし、改修のたびに費用もかかっておりますし、また、いろんなセキュリティー上のトラブルは、マイナンバーカードに限らず繰り返されている中で、こうした普及策そのものに賛成できないということでもあります。

それから、歳入においては、泉町1丁目北地区市街地再開発事業費において、これも国補正の増額に伴い市債も5,430万円、予算としては1億2,060万円増額ということでありました。本会議の代表質問でも、コロナの税収不足予測も含めて様々な事業の緊縮、見直しという市長答弁もありましたが、この新市民会館だけ特別扱いでお金を投じ続けるということ自体賛成できません。

なお、債務負担行為のプラスチックごみについては、意見として申し上げましたけれども、資源回収が毎週になるのはいいんですけども、新聞、缶のときは、さらにプラスチック、ペットボトルも回収するというふうになるんだと思うんですが、市民への周知もそうですけれども、私としては、集積所のキャパ超え問題が起きる懸念もちょっとしておりますので、拡大した方がいいけれども新たな問題が起きないように、十分なシミュレーションといたしますか、そういったことも含めて対応を求めておきたいと思います。

以上です。

○小泉委員長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○小泉委員長 ないようですので、議案第133号について採決いたします。

議案第133号について、原案のとおり可決することに賛成の方は挙手を願います。

〔賛成者挙手〕

○小泉委員長 挙手多数であります。

よって議案第133号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、認定第3号 令和元年度笠間・水戸環境組合一般会計決算認定について、御意見等がございましたらお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○小泉委員長 ないようですので、認定第3号について採決いたします。

認定第3号について、認定することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

○小泉委員長 総員挙手であります。

よって、認定第3号は認定すべきものと決しました。

以上をもちまして、当委員会に付託されました議案等についての審査は全て終了いたしました。

なお、この際、本会議における委員会報告書についてお諮りいたします。委員会報告書の作成については、正副委員長に御一任願いたいと思っておりますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○小泉委員長 御異議なしと認め、そのようにさせていただきます。

次に、この際、執行部から発言を求められておりますのでこれを許します。

熊田行政経営課長。

○熊田行政経営課長 それでは、市民課窓口におけるキャッシュレス決済の導入につきまして、総務部行政経営課、市民課提出の資料に基づき御説明をいたします。

1の目的であります。市民課窓口での住民票の写し等の交付手数料につきまして、キャッシュレス決済、具体的には電子マネーによりまして収納できるシステムを導入しまして、市民サービスの向上及び窓口業務の負担軽減を図るものでございます。

2の支払い可能な手数料でありますが、住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍証明書、課税証明書など市民課で取り扱う各種証明書に係る交付手数料でございます。

3の決済代行サービス事業者でありますが、水戸市南町3丁目4番12号、株式会社常陽クレジット、代表取締役、下山田和司でございます。

4の使用できる電子マネーの種類でありますが、Suicaなどの交通系電子マネー9種類と楽天Edy、nanaco、WAON、クイックペイの合わせて13種類でございます。

5の導入時期でありますが、令和2年10月1日から開始でございます。

6の今後の取組でありますが、市民課窓口に加え、今年度中に休日夜間緊急診療所にキャッシュレス決済を導入してまいります。

また、それらの利用状況の推移を見ながら、導入窓口の拡大等を検討してまいります。

説明は以上でございます。

○小泉委員長 それでは、内容について御質問等がございましたら、発言をお願いいたします。

須田委員。

○須田委員 実はさっきの論議にもつながるんですけども、私やっぱり、その歳入と歳出というのをすごく大切に、それから決算というのものもあるんですけども、これは説明がないんですけども、水戸市がいわゆる税金その他いろんなもの、印鑑証明書の収入とか、そういうものを取ったときに、当然手数料が発生すると思うんですよ。その手数料の説明があってもいいのかなと今言っているんです。

〔「ないだろう」と呼ぶ者あり〕

○小泉委員長 熊田課長。

○熊田行政経営課長 ただいまの御質問でございますが、手数料につきましては、今回の電子マネーにつきましては2.5%ということでございます。予算上の数字ではございますが、年間の市民課の交付手数料関係の収入が、出先機関等も含めて1億2,000万円ほどございます。そのうちの2%ほどの利用がこの電子マネーであったと見込みまして、そのうちのさらに2.5%ということによって6万円程度を年間で見込むということなんです。

○小泉委員長 須田委員。

○須田委員 手数料が減るんだから何か損するのかなという気持ちもあるし、市民の利便性向上にもなるという話で、キャッシュレス決済を進めるというのは当然なので、その多少の手数は仕方ないのかなとも思うんですが、その一方で市民の利便性向上で、今キャッシュレス決済のナンバーワンは、当然日本全国、世界全国で広がっているクレジットカードが1位ですけれども、その次、これは最近台頭してきたいろんな交通系電子マネーその他に対して、一番のシェアを持っているペイペイさんがここに入っていないと思われるんですよ。特に、この利用をするのは若い人が多いと思うんですよ。若い人は実は、茨城県水戸市の場合にはSuica、PASMOを使わないんですよ。電車に乗る高校生以外は。そうすると、そういう中では当然ながら、nanacoよりもペイペイのほうがシェアがあるんですが、なぜペイペイを入れていないんですかね。不便だと思います。

○小泉委員長 熊田課長。

○熊田行政経営課長 ただいまの御質問にお答えいたします。

確かに御提示のとおり、キャッシュレス決済の手法としましては、今回の電子マネーに加えましてクレジットカード、それからQRコード決済という主に3種類ございます。

今回、この手法について検討した中で、電子マネーにつきましてはSuicaをはじめとしまして、このシステム導入につきまして……

〔「ペイペイはどうなの」と呼ぶ者あり〕

○熊田行政経営課長 ペイペイですけれども、QRコード決済につきましては、これらほかの手法に比べますと、やはりシステムの新しいということがございますので、もう少し様子を見たいというところで考えてございます。ただ、今回のサービス代行業者の決定に当たりましては、市民ニーズの拡大等を踏まえて必要に応じてはクレジットカード、あるいはQRコード決済についても拡張できるようにということ……

〔「QRコードが入っていないの、ここ」と呼ぶ者あり〕

○熊田行政経営課長 入っていないんですが、拡張できることを前提にして進めていますので、市民ニーズが高まった段階ではそういった導入についても検討してまいりたいと思っております。

○小泉委員長 須田委員。

○須田委員 最後に手数料の問題なんですけれども、さっきの2.5%、いろいろな会社が今、参入してきていると思うんですよ。その中で安定性というのは常陽銀行にあるでしょうけれども、手数料の面でも常陽クレジットが一番安かったということではないでしょうか。

○小泉委員長 熊田課長。

○熊田行政経営課長 今回の決済代行サービス事業者につきましては、プロポーザルによる実施にて行っておりますが、今回のプロポーザルで手が上がったのは常陽クレジット1社だけでありました。

この2.5%という手数料なんですけれども、先行実施する茨城県日立市でも同じ数字でございます。

○小泉委員長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○小泉委員長 よろしいですか。

では、ないようですので、この件について終わります。

次に、閉会中所管事務調査についてを議題といたします。

本件につきましては、お手元に配付しました閉会中所管事務調査一覧表のとおり、当委員会から議長に対しまして申出をしたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○小泉委員長 御異議なしと認め、そのように決定させていただきます。

それでは、以上をもちまして、本日の総務環境委員会を散会いたします。

御苦労さまでした。

午後 零時 9分 散会